

自ら忙しい身ながらも、周りの方達の事を考えている山崎さおりさん

茅野市で農家食堂、加工食品、野菜の生産等を行うアップルヌードルを運営している山崎さおりさんを訪問しました。

素敵な農家食堂「傍/katawara」で、おいしいお蕎麦をいただいた後、お話を伺いました。



◇この仕事を始めたきっかけは何ですか？

☆東京で知り合った主人と結婚し、東京で暮らしていた頃、東日本大震災がおきて将来の事を考えるようになりました。

ちょうどその頃、祖父母が長年守ってきた畑を継ぐ者がいないという事で、お互い両親の側にいてあげたいと思う気持ちや、子育てするなら田舎の方がいいと思った事、更に主人が自営業をやってみたいという気持ちがあったりして、今に至っています。両親からも「帰ってこい」と色々餌をまかれました（笑）。

祖父母の畑は慣行農業から父が無農薬・無化学肥料栽培に切り替えて約20年、家族や農業仲間、ご近所さんにもご指導いただいています。私の両親はレストランを営んでいるのですが、両親が築いてきたように自分たちで無農薬野菜を作り、そのお野菜を食べていただく場として農家食堂をやらないかという話から、Uターンしてきました。

（さおりさん、ご主人と出会ったのは東京ですが、空けてびっくり、同じ茅野市出身、高校も同じ、お互いの実家も10分足らずなんだそうです。まさに赤い糸ですね♡）

◇仕事と家庭の両立はどうですか？

☆起ち上げの時が一番大変でした。直前に妊娠が分かったんです。計画外だったのですが、戸惑ったんですが、みんなに後押しされて産むことにしたんです。会社の起ち上げ、娘の誕生、畑の仕事みんな重なりました。娘をおんぶしたり授乳しながら野菜の販売を始めたり、娘を寝かせた後も寝る時間も惜しんで夜業で野菜の下処理したり。涙が出てしょうがない位大変な時期もありました。でも、最終的には周りのみんなが手伝ってくれて、知り合いもたくさん増え、乗り越えられました！娘は、両親、近所の方やお友達、いろんな方に育ててもらったんです。感謝しても感謝しきれないです。なので、一人で仕事と家庭を両立したという感じではなく、たくさんの人のサポートがあって会社も私たちも一緒に育ててもらったという気がします。

◇ストレス解消って、どうしてますか？

☆え～。結構私忘れちゃうんですよ辛い事。でもやっぱり友達とご飯食べたりとかかなあ。友達と「あ～だよな、こ～だよな」って話しながら美味しい物食べたり飲んだりする時間が解消しているのかも！自営でやっている友達も周りにいるので、いろんな業種の友達と話ができると刺激にもなるし、仕事でも高めあえる。異業種のお友達とコラボでやってみようって話も出たりします。

私たちの世代ではワークライフバランスを大事にする人が多い気がします。娘や家族、

友達との時間がないと、仕事の意味がなくなっちゃうので（笑）。そんな理想に近づくのは難しいねって言いながらも、実現している友達と話したりするのがストレス発散にも、また新しいアイディアにも繋がったりしています。

◇お店をやっていて聞くのもどうかなと思うんですが、料理は得意ですか？

☆弟がいるのですが、弟は小さい時から料理が大好きで、今も料理の道にいますよ。でも、私は小さい時から料理は苦手な方だったので、両親や弟とは別の道を歩いてきました。でも、実家がレストランということもありますし、アメリカ（留学）にいた時に色々な国の友達から色々な料理を食べさせてもらったので、食の経験値は高いはずですよ（笑）。「色々食べてるからおもしろいもん作るな。コンビネーション良いぞ！」みたいな事を言われます。なので、得意不得意というと、得意かも（笑）。

お店のメインを蕎麦にしたのは、茅野が蕎麦の産地だという事と、地名が「泉野」と名付けられる位水が美味しい土地という事、また主人が打った蕎麦と自家製野菜をメインとしたメニューに絞ることで、背伸びせずに自信をもって提供できると思い決めました。会社のスローガンでもある「おもしろいことが起こりそうな予感」をコンセプトに、蕎麦＝和という固定概念にとらわれず、自分たちがいいなと思うものを提供したいと思っています。傍/katawara では 2 種類のおそばと 2 種類のおつゆをお出ししていて、季節ごとの変わりづゆ（さくら、トマト、柑橘寒天、味噌キノコ等）はご好評いただいています！

◇お子さんには農業のお手伝いや後継者にさせたいと考えていますか？

☆高校生までは一緒に畑やお店に立ってくれたら嬉しいかな。後を継ぐことに関しては、基本的には娘の思うようにやればいいかなと。18歳になったら一度は外に出て色々な事を経験して欲しいですね。世界はとても広くて、物事の捉え方、色々な考え方の人がいるということを肌で感じてきてほしいと思っています！なので、娘に継いでもらうよりも、いずれはこれから農業を始めたいという人たちをサポートできるようになればと思います。私たちは飲食と農業両方やっているの、異業種の橋渡しのようなこともお手伝いできたら楽しいかも！

◇これからやりたいことはありますか？

☆今妄想しているのは、傍/katawara のお隣にある蔵で、暮らしに便利な手軽なセレクトショップみたいなものができないかと考えています。人にプレゼントをあげるって楽しいじゃないですか。ちょっとしたお礼や、気持ちのこもったプレゼントとかを買える場所がこの辺にあったら楽しいよねって、主人と話しています。ここは山裏って呼ばれるくらい地元の人からしても遠い所なんです。友達と話していても、「遠いよね、雪降るしね」って。なので、遠くても傍/katawara での食事の時間や、セレクトショップでのワクワクした時間を目的に、この山裏にも人が来てくれるんじゃないかと期待しています！

主人は昔アパレル関係の仕事をしていたので、スタッフのユニフォームも主人がデザイン・プリントしてるんですよ。農家仲間が思わずほしくなっちゃうようなカッコイイワークウェアがあったり、私たちやお友達の加工食品があったり、近所の手先の器用なおばあちゃん達で作るステキな小物とかも置けたらいいかなって。社会に貢献したい、人のために

何かしてあげたいと思う人達が本当に多くなって思ってた、そんな人たちが輝ける何かそういうチャンス（場）を提供できないかなあと考えています。

アイディアは色々あるんですが、店にいる時間が長すぎちゃって。今話したのも早ければ来年だったり、もしかしたら3、4年後になるかもしれませんが「おもしろい事が起こりそうな予感」を大切にしていきたいです！

◇自分の事だけでなく、周りの方達の事も考えてるんですね。

☆ 起業して3年ですが、ようやく両親が心配する事ばかりでなく、見守ってくれるようになりました。主人とよく話すんですが、自分たちが今あるのは元々父達のレストランがあって、おばあちゃん達の畑があって、私たちはその土台があったものを一緒にやらせてもらっているだけ、なので「みんなに感謝しなきゃいけないね。」って。なので、家族や応援してくださる方々にどんな形でもいいから恩返ししていきたいと思っています。

◇さおりさん・ご主人共に、それぞれ結婚前かなり苦労された時期があったそうで、「あの時こうだったんだよ。」「あーそれ分かる」なんて語り合いながら。お互い苦労したからこそ、相手の辛さを理解でき、同じ価値観だったので、この仕事を始めるにあたっても、あまり恐れず「二人でやれば何とかかなるよね！」っていう気持ちになったそうです。

もう冬間近、冬場の集客力も増やせるようご夫婦で考案中との事。頑張ってください！

冬期に茅野市周辺へ出かけられる方がおりましたら、お食事は「傍/katawara」でいかがですか！「おもしろい事が起こりそうな予感」感じられることできるかもしれませんね。

明るく取材に対応していただいた、さおりさん。お聞きしたような苦労があったとは、訪問前には想像していませんでしたが、最後に、ご両親への感謝の気持ちと何よりお二人の強い絆の一端をお聞きでき、こちらも温かい思いになりました。

取材日は11月22日と、真にいい夫婦の日でした。



マッキーがおじゃまします！

関東農政局長野県拠点